

大会スケジュール（詳細版）

- 2026年8月5日 公開
- ここでは、発表者は第一著者のお名前のみを掲載しています。
- 今後、発表される抄録集では、著者リスト全員を掲載いたします。

1日目：9月10日（木）各学会 独自企画 21 Komcee East

時間	会場1 2F-211教室	会場2 2F-212教室	会場3 2F-213教室	会場4 2F-214教室	会場5 1F-114教室
13:00 - 14:30	F1-1 青年期をもつのはヒトだけかー霊長類的基盤を考える	F2-1 古代分子分析と人類進化	F3-1 比較形態機能学	F4-1 生理人類学の測定法と人類学関連研究への展開	
14:30 - 14:45	休憩	休憩	休憩	休憩	
14:45 - 16:15	F1-2 次期指導要領における霊長類学・人類学関係の教科書コンテンツの提案	F2-2 霊長類の前方交叉・後方交叉研究の展望	F3-2 「ニホンザルの稀な行動」ー英語書籍の出版へ	F4-2 ヒトの睡眠・生体リズムにみられる多様性	F5-2 サルからサピエンスへ至る知識累積の向上に何が関与したか
16:15 - 16:30	休憩	休憩	休憩	休憩	休憩
16:30 - 18:00	F1-3 福島県に生息するニホンザル原町個体群の保全管理：現状と広域連携の課題	F2-3 骨考古学におけるタフォノミー研究の実践と展開	F3-3 排泄から考える：排泄物のアフォーダンスと「個」の境界の揺らぎ	F4-3 日本列島集団の体温調節機能と形態的特性の統合的解釈	F5-3 ヒガシチンパンジーの進化史を探究する。生態・形態・行動・遺伝から多面的にみる集団間の多様性とその意義
18:00 - 20:00	撤収作業				

2日目：9月11日（金）

【午前】発表賞対象口頭発表 13号館

時間	会場A 1313教室	会場B 1323教室	会場C 1331教室
08:00 - 09:00	受付	受付	受付
09:00 - 09:15	YA-01 佐川 そのみ (京都大) 熱帯乾燥林におけるコクレルシ ファカの採食戦略：雨季と乾季 の季節間比較	YB-01 鬼木 そら (東京大) 縄文時代人の体格における変異 ：緯度・地方・遺跡の比較	YC-01 齊藤 葵 (大阪大) ニホンザルにおける選好注視法 を用いたアカンボウの歩行動画 への視覚的選好の検討
09:15 - 09:30	YA-02 王 逸臻 (東京大) Identification of “anomalous” trichromats in neolithic humans supporting ancient	YB-02 白神 明日香 (東京大) 縄文時代人の下肢骨断面形態に おける性差	YC-02 石田 恵梨 (小松大) 若年成人における神経症傾向と 主観的感覚意識の関連性 -嗅覚 への気づきに着目して-
09:30 - 09:45	YA-03 片山 洸彰 (大阪大) 嵐山集団のニホンザルにおける 20カ月間の毛づくろい行動の 一貫した個体差の検討	YB-03 坂田 彩音 (東京大) 糞石からの古代寄生虫DNA検 出のための抽出法および <i>in</i> <i>silico</i> 解析法の最適化	YC-03 深澤 真楠 (新潟大) HBVのジェノタイプから探る 縄文後期～弥生にかけてのヒト の移動
09:45 - 10:00	YA-04 中村 凱 (東京大) 歯の咬耗を「失われた量」とし て捉える—未咬耗时エナメル質 体積推定による咬耗評価—	YB-04 石橋 咲 (東京大) 解剖学的筋骨格モデルに基づく ヒト母指筋の指先力生成機能の 解析	YC-04 設楽 哲弥 (大阪大) 比較筋骨格シミュレーションが 示すヒトに特異的な中殿筋と小 殿筋の筋内領域間機能分化
10:00 - 10:15	YA-05 前田 健志 (東京大) 高齢者施設の木造化、内装木質 化が職員に与える影響	YB-05 田原-新井 悠也 (理研) 機能的単位に基づく筋腱経路オ ントロロジーの構築と比較解剖学 への応用	YC-05 坂井 明日風 (京都大) 霊長類に共通する骨盤の性的二 型パターンの進化
10:15 - 10:30	YA-06 嶋根 裕太 (東京大) 3次元身体力学モデルによるゴ リラナックルウォークの順動力 学シミュレーション	YB-06 服部 桜 (日本体育大) 身体能力関連遺伝子における機 能検証候補の絞り込みを目的と した選択圧解析	YC-06 安田 千七 (理研) 日本人集団特異的MNVの網羅 的解析と機能的影響の評価
10:30 - 10:35	休憩	休憩	休憩
10:35 - 10:50	YA-07 田中 理暉 (東京大) 石器製作における手の生体力学 解析のための計測系構築	YB-07 逢坂 暖 (東京大) ヒストタフォノミーからみた縄 文時代後期の土器棺再葬墓の葬 送プロセス —骨組織観察と放 射性炭素年代測定による検討—	YC-07 中村 友香 (東京大) ToMMoコホートデータをもち いた縄文人由来ゲノムが表現型 へ及ぼす影響の検証
10:50 - 11:05	YA-08 Kim Jaock (京都大) チンパンジーのメスにおける加 齢に伴う行動変化—活動時間配 分と空間利用に着目して	YB-08 YAN XIAOCHAN (北海道大) Investigating the molecular basis of coat color melanism in <i>Macaca nigra</i>	YC-08 藤原 歩 (東京大) ヒト成人四足歩行からみた霊長 類ダイアゴナルシークエンス歩 行の力学的意義

11:05 - 11:20	YA-09 臼井 詩織 (東京大) 現代日本人下顎骨形態と性差の時代変化	YB-09 高木 蔵之助 (東京大) 拡散テンソル画像に基づくヒトとマカクの白質線維走行の発達過程の比較	YC-09 榊原 未桜 (京都大) ニホンザルにおける発達による他個体との距離の取り方の変化
11:20 - 11:35	YA-10 近 裕介 (久我山病院、杏林大) 視覚入力および支持面条件の変化に伴う立位姿勢制御時の身体分節間協調 一位相同期値を用いた探索的検討ー	YB-10 渡辺 宗憲 (京都大) 脛骨遠位部の形態から推定されるナチョラピテクスの移動様式	YC-10 蓮田 賀子 (九州大) 近世江戸集団における口腔衛生状態の階層差
11:35 - 11:50	YA-11 永島 萌 (慶應義塾大) 齧歯類の齧痕が示唆する後期更新世白保竿根田原洞穴遺跡での風葬の可能性	YB-11 半沢 真帆 (東京大) 誰が先に飲む？：サバンナの水場におけるパタスモンキーの個体戦略と集団リスク低減	YC-11 奥 大河 (総研大) ネアンデルタール人の運動能力の特徴を示唆する可能性のある候補変異の探索
11:50 - 12:05	YA-12 吉田 光希 (東京大) 東南アジア大陸部の少数民族ゲノムに観察された祖先モザイク構造	YB-12 濱元 祥子 (九州大) 不眠症を含む多因子疾患リスクからみた現生人類の適応進化	YC-12 KIM JONGHYUN (東京大) GHOST：要約統計量のみを用いた参照パネル未収載集団における集団特異的連鎖不平衡構造の再構築
12:05 - 12:10	休憩	休憩	休憩
12:10 - 12:25	YA-13 田伏 良幸 (中央大) 野生ニホンザルの湿度と関連した行動性体温調節：半日陰の意義	YB-13 池上 知乃新 (京都大) 糞由来DNAのメチル化を指標としたニホンザルの年齢推定：精度向上を目指して	YC-13 平野 力也 (沖縄県博) 縄文時代の頭骨における外傷について～東日本を中心に～
12:25 - 12:40	YA-14 安富 祐人 (大阪大) ニホンザルにおける水平梯子上の四足歩行の時系列分析	YB-14 村井 皓太郎 (東京大) 世界規模の比較メタゲノム解析が明らかにしたサハラ以南アフリカ集団が保持する祖先的腸内シアノバクテリア系統	YC-14 豊田 直人 (東京大) 島嶼化は脳サイズと体サイズをどのように変えるのか：ニホンジカ集団間変異と化石種リュウキュウジカからの示唆
12:40 - 12:55	YA-15 福原 瑤子 (総研大) 郡遺跡・倍賀遺跡出土人骨の歯エナメルプロテオーム解析による弥生時代中期集団の性別推定	YB-15 藤田 真子 (同志社大) 冷涼環境下における正弦波歩行時の呼吸・体温調節の相互関連	YC-15 中村 謙伸 (聖マリアンナ医科大学) 現代人女性CTデータを用いた耳状面前溝の成因に関するマクロ形態学的検討
12:55 - 13:10	YA-16 片岡 梨沙子 (東京大) 古代ミトコンドリアゲノムから明らかになったボリビア・チチカカ湖周辺における時代を通じた遺伝的連続性	YB-16 神 未来 (信州大) 地表面温度がニホンザルの休息時姿勢選択に与える影響：接触面積を介した熱伝導の調整	

13:10 - 14:10	昼食・移動時間 (60分)
---------------	---------------

【午後】一般ポスター・合同シンポ Part 1 & 2

時間	内容	会場
14:10 - 15:10	一般ポスターセッション 【コアタイム】 ・ 14:10 - 14:40：奇数番号 ・ 14:40 - 15:10：偶数番号	21 Komcee East B1F-003 (MM ホール)
15:10 - 15:25	移動・準備	
15:25 - 17:05	S-01 3学会合同シンポジウム (Part 1「適応」)	13号館 1323教室
17:05 - 17:20	休憩	
17:20 - 19:00	S-02 3学会合同シンポジウム (Part 2「プラネタリーヘルス」)	13号館 1323教室
19:00 - 20:00	撤収・閉場	

3日目：9月12日（土）

【午前】一般発表 13号館

時間	会場A 1313教室	会場B 1323教室	会場C 1331教室
09:00 - 09:15	A-01 伊藤 幸太 (産総研) 骨盤形態変形と順動力学解析による直立二足歩行生成の仮想進化シミュレーション	B-01 豊田 有 (京都大) タイ・ワットタキアアップ沿岸のカニクイザルにおけるヤドカリ捕食と道具を用いない殻処理行動	C-01 横山 結 (神奈川工科大) 心拍同時計測型ナイトブラ式深部温デバイスを用いた性周期評価とPMSの関係
09:15 - 09:30	A-02 森本 直記 (京都大) トルコ南部ウチャーズリII洞窟における発掘調査の結果	B-02 戸田 和弥 (総研大) ボノボのオスの順位に関連する交尾パターン：全体の交尾頻度の順位に依らない同等性と受胎可能なメスへの交尾機会における順位バイアス	C-02 壹岐 朔巳 (京都大) サルは“説明”を探索するか？
09:30 - 09:45	A-03 森田 航 (国立科学博物館) トルコ南部ウチャーズリII洞窟出土の歯化石の解析	B-03 古市 剛史 (椋山女学園大) 近年の研究成果にもとづくボノボの進化に関する性的受容性長期化仮説の検討	C-03 田村 大也 (京都大) 飼育ニシゴリラの利き手を評価するための新課題の開発：野生下の行動を再現したシロアリ課題
09:45 - 10:00	A-04 米元 史織 (九州大) 弥生時代人骨にみられる渡来的形質の多様性と展開	B-04 松本 卓也 (信州大) 野生チンパンジーにおける排泄行動の社会的文脈と空間的特徴	C-04 渥美 結月 (杏林大) 書字課題における認知的負荷と運動的負荷が運動制御・筋活動・脳波活動に及ぼす影響
10:00 - 10:15	A-05 松村 博文 (札幌医科大) 後期旧石器時代から新石器時代にかけてのユーラシアにおける人類集団の拡散：頭骨3次元形状解析による二層モデルの検証	B-05 Lee Boyun (総研大) 母親による死児への世話と生存活動の両立—野生ヤクシマザルの事例—	C-05 上野 将敬 (近畿大) ニホンザルの血縁個体間の顔は似ているか？
10:15 - 10:20	休憩	休憩	休憩
10:20 - 10:35	A-06 水嶋 崇一郎 (聖マリアンナ医科大学) 縄文人脛骨の頑丈性と扁平性は成長過程のいつ現れるのか：断面形状解析による現代日本人との比較	B-06 永井 亮輔 (大阪大) 展示環境や来園者数が天王寺動物園のチンパンジーの行動に与える影響	C-06 西村 悠貴 (労働安全衛生総合研究所) 暴言ばく露下における情動情報処理と個人差の検討
10:35 - 10:50	A-07 五十嵐 由里子 (日本大) 縄文時代と弥生時代の人口構造—年齢構成と出生率—	B-07 中川 尚史 (京都大) ガーナ・モレ国立公園のパタスモンキーにおけるロストコールとそのアヌビスヒヒからの戦術的隠蔽	C-07 久瀬 真奈美 (久瀬医院) 偏光光干渉断層計を用いた網膜・脈絡膜構造およびメラニン関連指標と対光反射後持続性縮瞳反応（PIPR）の民族差解析—東アジア人とヨーロッパ人の比較—

10:50 - 11:05	A-08 高 椋 浩史 (土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム) 広田遺跡出土人骨の年代測定-Sr同位体比分析個体を中心に-	B-08 中道 正之 (大阪大) 勝山ニホンザル集団において子ザル養育中でない経産メスが孤児となって1カ月以上経過した生後5カ月と12カ月の子ザルを養子とした事例	C-08 波多 航輝 (立命館大) 協和・不協和音に基づく音楽の聴取が脳・自律神経活動に及ぼす影響
11:05 - 11:20	A-09 富岡 直人 (岡山理科大) 創傷を有す吉野口遺跡 (吉備津)出土伝妹尾太郎兼康頭蓋骨	B-09 村松 明穂 (秋田県立大) 秋田市大森山動物園の飼育チンパンジーによるカエル捕食の事例報告	C-09 平松 千尋 (九州大) 入眠期における色の経験の現象学および神経基盤
11:20 - 11:35	A-10 永瀬 史人 (新潟県立歴史博物館) 人骨のタフォノミーにみる土器棺再埋葬の多様性-環状列石出現期の葬墓制の検討-	B-10 五百部 裕 (椋山女学園大) 人類の肉食行動の進化再考	C-10 高木 祐介 (小松大) 成人男女の夏季の低山登山時における感情に係る指標変化

11:35 - 12:35	昼食・移動・Primates 編集会議 (3号館113)	60分
---------------	------------------------------	-----

【午後】 一般・発表賞・中高校生ポスター・受賞講演・合同シンポ Part 3

時間	内容	会場
12:35 - 14:05	一般・若手発表賞・高校生ポスター発表 【コアタイム】 ・ 12:35 - 13:20：若手奇数番号 + 中高生 ・ 13:20 - 14:05：若手偶数番号	21 Komcee East B1F-003 (MM ホール)
14:05 - 14:15	中高生ポスター表彰式	同上
14:15 - 14:30	移動	
14:30 - 16:10	S-03 3学会合同シンポジウム (Part 3 「正常のゆらぎ」)	13号館 1323教室
16:10 - 16:20	休憩	
16:20 - 17:25	日本人類学会学会賞表彰・受賞記念講演 その他表彰	13号館 1323教室
17:25 - 18:00	移動・準備	生協食堂へ
18:00 - 20:00	懇親会	生協食堂

4日目：9月13日（日）

【午前】一般発表 13号館

時間	会場A 1313教室	会場B 1323教室	会場C 1331教室
09:00 - 09:15	A-11 海部 陽介 (東京大) 最古のジャワ原人化石の出土層位：サンギランにおける新たな野外調査からの推察	B-11 遠部 慎 (中央大) 大分県川原田洞穴の再検II	C-11 市野 進一郎 (国立民族学博物館) マダガスカル，ベレンティ保護区におけるワオキツネザルの30年間にわたる個体群動態
09:15 - 09:30	A-12 岡 健司 (和泉大) 後方歩行における脊柱起立筋および腹直筋の活動様式	B-12 畑山 智史 (中央大) 弥生時代における貝採取季節と集落構造に関する一試案	C-12 田中 洋之 (京都大) 新潟県妙高市笹ヶ峰地域のニホンザル個体群の系統的位置づけと成立過程
09:30 - 09:45	A-13 跡見 友章 (杏林大) 片脚立位における体節間協調一位相同期の方向・周波数特異性による探索的検討	B-13 松平 一成 (琉球大) ビルマカニクイザルの全ゲノム解析	C-13 大谷 洋介 (大阪大) 新たに確認された被害形態：ニホンザルによる木材への食害
09:45 - 10:00	A-14 西村 剛 (大阪大) テナガザルの発声機構と機能形態	B-14 安河内 彦輝 (関西医科大) ネパール高地集団におけるエピゲノムワイドDNAメチル化解析による高地環境応答の分子基盤の探索	C-14 薦谷 匠 (九州大) 糞プロテオミクスによる野生チンパンジーの離乳パターン推定
10:00 - 10:15	A-15 日暮 泰男 (山口大) マカクザルとイエネコにおける脊椎の3軸方向の柔軟性と身体運動との関連	B-15 一色 真理子 (東京大) 米国先住民族における大規模集団ゲノム学解析：トライバル主権を尊重した倫理的枠組みの構築	C-15 橋本 千絵 (京都大) 野生ボノボにおける閉経後の長い寿命について
10:15 - 10:30	休憩	休憩	休憩
10:30 - 10:45	A-16 跡見 順子 (電気通信大) 身体性×多時間スケール×動的安定性によるレジリエンス基盤の創成	B-16 金 亨哲 (国立加耶文化遺産研究所) 韓半島南部古人骨のゲノムからみた先史・古代人集団の遺伝的特徴	C-16 毛利 恵子 (京都大) コモンマーモセットにおけるプロリン型オキシトシン特異的ELISAの評価
10:45 - 11:00	A-17 松本 優佳 (神戸大) 足底腱膜がヒト二足歩行時の鉛直軸周りの回旋特性に与える影響	B-17 荒川 明 (東邦大) 近世日本のヒト口腔内細菌叢の解析：集団間多様性について	C-17 松田 一希 (京都大) 重層社会の適応的意義を探索：テングザルにおける腸内細菌叢と寄生虫感染の統合解析
11:00 - 11:15	A-18 田中 和哉 (帝京科学大) 直立姿勢・歩行における体幹分節間同期の周波数帯域依存性	B-18 劉 子嘉 (北海道大) ニホンザル (<i>Macaca fuscata</i>)における生殖系列 <i>de novo</i> 突然変異の発生率と変異パターン	C-18 Wanyi Lee (筑波大) 腸内細菌叢の発酵能力の評価：ヒトと飼育下の類人猿における比較研究
11:15 - 11:30	A-19 天野 英輝 (東京大) 解剖学的相同変換に基づくヒト脳形態の個体発達および系統発生的変化の統合分析	B-19 佐藤 桃子 (理研) アイヌ民族を対象とした遺伝学的研究の歴史的検討	C-19 島田 将喜 (帝京科学大) マハレにおけるメスチンパンジー白骨遺体の発見と死後過程の復元

11:30 - 11:45		B-20 本井 碧 (九州大) アルコール摂取後の主観的酩酊感と注意機能の変化：ALDH2遺伝子型および飲酒傾向との関連	C-20 矢野 航 (防衛医科大) 落下の解剖学：骨資料から復元した若いメスチンパンジーの死亡過程
11:45 - 13:00	人類学ドルメン：若手・中堅なんでも懇談ランチ会		

【午後】 公開シンポジウム 13号館

時間	内容	会場
13:00 - 16:30	CARA 9 学会合同シンポジウム	1323教室
16:30 - 19:00	最終撤収・片付け	